

受理番号及び 受理年月日	所 管	件 名 及 び 要 旨	提 出 者
28年－31 (28.11.22)	農林水産  関連陳情 危機管理 28年－29  生活環境 28年－30  総 務 28年－32	<p><b>鳥取県中部地震を受けた防災体制の強化（農家支援関係）について</b></p> <p><b>▶陳情理由</b> 10月21日の午後2時頃、鳥取県中部を震源に発生した震度6弱の地震は、まさに青天の霹靂であり、家の倒壊や瓦の落下など大きな被害をもたらした。まず、地震で被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。</p> <p>そして、倉吉市や鳥取県など、行政現場の方は、休日返上、徹夜で、部局関係なく支援にあたられており、心より敬意を表するものである。避難所で支援にあたられた行政職員の方は、現場のニーズを汲み取ろうと必死の支援をされていた。</p> <p>街は、地震で不安をかかえた人々ばかりの何とも言えない空気が。断水したため近くのスーパーに水を買に行くと、瓶が割れ、商品が散乱していた。そんな中、県は発災よりただちに見回りのへりを飛ばし、他県からも応援に駆けつけてくれるなど「見守られている」感があつた。知事も被害状況の確認のため、速やかに現地入りされた。こうした迅速な行動・判断は、被災者の方にとって、大きな心の支えになったと思う。</p> <p>一方、倉吉市において、市庁舎自体が破損して災害対策本部が置けず、急遽県の総合事務所に間借りして本部を設置するに至ったことなど、当初の想定と現実が乖離し、「想定外」の事態も起きた。あつてほしくはない"今後"に備え、想定外の事態を作らないことが必要である。</p> <p>果樹やワインなど、動産への被害が出ている。真庭市など他県から落下梨を買って給食に使ってくれるなど、農家を支援する取組は広がっており、素晴らしいことである。</p> <p><b>▶陳情趣旨</b> 落ちなかつた梨を高値で売るなどの取組は必要だと思ふが、その対象ではない、落ちてしまった梨など被害は深刻であることから、これら農家への支援を検討すること。</p>	足羽 佑 太 (倉吉市)